心に残るぬくもりのある広報誌

Palja

ぱ る じゃ

JA八戸

2022
3月号
No.156

特集

令和３年度やさい生産販売検討
～令和４年産に向けた課題と対策～

打ち所

打ち所が悪かったという言い回しをする。転んで打ち所が悪かったせいか腰の痛みがなかなかとれない、とか。打ち所が悪かったのか頭が悪いとはいわない。先天的な疾患であろう。

打ち所が良くて、という言い回しは聞かない。打ち所が良くて足が速くなった、とか、打ち所が良くて頭がスッキリしたとかは聞かない。

非の打ち所のない、という言い方もある。欠点がないと言う事なのだが。あの人は非の打ち所のない人間だ、とか。私もそのタイプなのだが、控えめな性格のためか誰もそのような評価はしていないようだ。残念だ。

筆が走らない。一度言ってみたかった。素人だから仕方が無い、にしてもシャーペンの芯が折れやすくなった。

これを書いている二月二十五日。新聞には、二十四日ロシア ウクライナ侵攻とのトップ記事。関連記事として原油、食料さらに高騰か、とある。我々農家の足元を見ると、米価をはじめとする農畜産物の長引く価格の低迷、そして資材価格の高騰。生産農家とはいえ消費者である。収入が抑えられ、経営支出ばかりが増える。加えてコロナ禍である。こんな時考える。協同組合として組合員の役にたてる部分はどこにあるのだろう。と。

言葉はある。協同、共助、相互扶助。とはいえ言葉だけでは漠然とした理解でしかない事が多いと思う。

もっともわかりやすい方法は言葉を交わすことだろう。ふつうの事であるが、このコロナ禍で普通が普通でなくなってきている事も大きいと思う。それでも前進、前進である。お互いに言葉を掛け合って、やや前のめりで前に進め進め進め進め。

考え過ぎたせいか、頭が痛くなってきた。

打ち所が悪かったらしい。

千　夢

今月のPaljaもくじ

No.156

打ち所……2
特集……3
　令和3年度やさい生産販売検討
支店運営委員会開催……8
「令和3年度青森県ながいも共進会」および「令和3年度青森県ニンニク共進会」
県知事賞受賞……10
スマホ教室開催
　参加者初めてのスマートフォンに触れる……10
第13回花き部会通常総会……11
令和3年度JA八戸青壮年部通常総会……11
地域ふれあい活動……12
トピックス……13
事業復活支援金について……14
新人職員と女性部との料理講習会……14
活動リポート……15
地場産レシピ……16
グリーンセンター施設のご案内と
　営業時間のお知らせ……16
正組合員と准組合員の資格要件の違いって？……17
役員改選が行われます……17
組合員資格のご確認をお願いいたします……18
営農情報　栽培インフォメーション……20
JAカレンダー……20
「家の光」4月号のご紹介……21
JA八戸女性部　部員募集……21
JA八戸青壮年部　部員募集……21
理事会だより……22
JAのすがた……22
輝け×農業……23
クロスワード……24
皆さまのお声……24
決算棚卸に伴うグリーンセンター・
　資材センター休業について……
ローン相談会……

特集

令和3年度やさい生産販売検討

～令和４年産に向けた課題と対策～

日頃より、ＪＡ八戸野菜総合部会活動にご理解とご協力を賜りこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

令和３年産（１月～12月）のやさい販売も年度またぎの品目を除き終了致しました。例年であれば生産販売検討会を開催し、生産販売課題や次期作への対策等について主要取引先卸売市場を迎え生産者と情報を共有する場を設けておりましたが、今年度に関しましても果菜類生販検討会開催間近ではありましたが新型コロナウイルス変異株の影響拡大によりやむなく開催中止の判断を致しました。

生産者・ＪＡ・卸売市場が課題や対策に関する情報を共有することは産地維持にとって非常に重要なものでありますので、次項からの課題と対策を踏まえ『ＪＡ八戸ブランド』の確立、また『持続可能な産地形成』のためにも生産者の皆様におかれましては更なるご協力をお願い申し上げます。

ＪＡ八戸野菜総合部会
部会長　中　里　光　朋

1　やさい生産販売経過

管内のやさい生産は、生産農家の法人化や大規模化の傾向はあるものの、総体として高齢化の進展により販売農家数が減少していることに加えて、生産人口の減少に伴う播種や収穫、選果時の労働力不足が深刻な課題となっています。

本年度の生産概況は、消雪は平年および前年に比べ早く、「播種」・「定植」等の春作業は順調に経過しました。

やさい全般の生育については、春先は概ね好天で経過したものの、６月の干ばつにより露地野菜は生育が抑制されました。更には８月上旬までの高温から果菜類では障害果や花落ちが散見され、８月中旬以降の降雨により生育不良や病害による品質低下が見られました。９月以降は好天で経過したため作柄はやや回復したものの、やさい全般で数量・品質ともに平年を下回る結果となりました。

販売面では新型コロナウイルス感染症による影響も不安視される中での販売開始となりました。昨年度においての影響は限定的ではありました。しかし今年度においては各品目に共通して天候不順により各産地の出荷リレーがスムーズに行われなかったことや、需要期における新型コロナウイルス感染症蔓延防止等重点措置の発動から業務需要が減少し、荷動きを大きく停滞させることとなりました。その結果、多くの品目において目標単価を確保することができず厳しい販売環境となりました。

2 令和３年産品目別生産販売課題と令和３年産生産販売対策

①ながいも

課　題	対　策
生産（指導） ○講習会への参加が少なく、技術や対策等の情報提供が上手く行かず、天候不順やウイルス等による品質や収量の低下がみられる ○大規模化による土壌、栽培管理の低下がみられる	**生産対策（令和４年産）** ○講習会の開催方法や指導方法の見直しと、天候を考慮した排水対策や技術指導を行い、優良種苗の更新率を上げ、さまざまな状況に対応できる技術の向上を目指す ○土壌診断の有用性を周知して、診断数増加を図り、栽培管理の徹底を促す
販売 ○毎年作柄が違い等階級の発生比率が変わり、北海道産の作柄も影響して市場動向が変わる為、市場で要求する等階級が変わる	**販売対策（令和３年産）** ○長期安定出荷の実施 重点市場への継続安定出荷を基本とし、市場特性に応じた分荷調整を行い販売向上を目指す ○特別注文対応の強化 等階級別限定出荷等の特別注文対応強化と、国内流通量・販売状況を見極め積極的に輸出への出荷対応を行い有利販売に努める ○消費宣伝活動強化によるブランド確立 全農あおもり主催の消費宣伝会へ積極的に参加するとともに、主要消費地での定期的なＪＡ八戸フェアを開催し、産地ブランド確立へ向けたＰＲ活動を行い消費拡大を図る

②にんにく

課　題	対　策
生産（指導） ○近年Ｂ品や着色、イモグサレセンチュウ等の病害虫被害球の割合が増加している	**生産対策（令和４年産）** ○全農優良種苗への種子更新を促し、講習会等で土壌分析に基づいた適正施肥と病害虫防除の徹底など、栽培技術の向上を図る
販売 ○重点取引市場においては市場取引先の評価を高めるため安定した出荷数量・品質の確保と選果の均一化に取り組まなければならない ○パッケージ向け原料の集荷調整 ○全国的に品薄となり安定単価が期待できる時期への出荷誘導	**販売対策（令和３年産）** ○ＪＡ八戸ブランド確立へ向けたＰＲ活動の展開 ・『福地ホワイト発祥の地』を前面に出した消費宣伝会を積極的に展開する ・地域商標登録『たっこにんにく』の集荷率向上に努める ○パッケージ販売の拡大 ・長期市況を勘案した価格交渉を行い安定的な付加価値を獲得する ○計画安定出荷の徹底 ・にんにく植付時期や稲刈り時期の出荷数量の減少や年明けの集中出荷を解消するため、調整保管やセンターでの皮むき共選を活用し月別出荷量の平準化に努める

③ね　ぎ

課　題	対　策
生産（指導） ○前進出荷に取り組んでいるが、出荷時期の決断が慎重すぎるあまり、露地栽培と変わらない出荷開始時期となっている ○気温の変動が激しく、酷暑で高温腐敗が発生し、廃棄物の増加による収量の低下と、ポトリチス葉枯れ病によるＡ品率の低下	**生産対策** ○圃場巡回を徹底し出荷開始を促す ○高温腐敗を軽減できる資材・品種の検討と指導情報誌の発行により適期薬剤散布の徹底を図る
販売 ○作柄不良時に高値が重なるとＡ品率が落ちる ○クレームに関してねぎ汁は年々減少傾向だが個人格差がみられる	**販売対策** ○市場評価、販売単価の向上のため、箱傷み・ねぎ汁によるクレームゼロを目指す ○鮮度保持、選果選別の徹底及び検品体制の強化を図る（取り置き防止、規格の遵守、黄変の混入防止） ○取引市場を集約し、ロットの拡大を図る

④大根葉菜

課　題	対　策
生産（指導） ○収入減による作付面積の減少 ○高温障害や害虫による（キスジノミハムシ）品質低下	**生産対策** ○品種比較試験の実施により、各作型に適する品種の選定を行い、巡回指導の徹底により秀品率の向上を図る ○講習会、生産情報による病害虫防除技術の周知と、キスジノミハムシの防除技術の確立を図る
販売 ○他県産と出荷時期が競合することにより値崩れが発生している ○日々の出荷量の増減があり、品不足期間が発生する	**販売対策** ○取引市場と播種計画及び播種実績を基に早期情報交換を行い、価格維持と安定販売に向けた値決め販売を提案する ○安定供給に向けた適期収穫情報の提供と推進を行う

⑤ご ぼ う

課　題	対　策
生産（指導） ○長芋跡地利用や、連作による土壌病害の発生（黒あざ等） ○ネキリムシ等の害虫被害により欠株が発生している	**生産対策** ○緑肥や他作物等との輪作体系と、土壌消毒の適正使用及び難透過性被覆資材の推進を図る ○講習会等で徹底した病害虫防除の周知を図る
販売 ○相場に左右されやすいため、系統率が低い ○取引市場が多く出荷ロットがまとまらない	**販売対策** ○系統出荷の利便性を講習会で説明し系統出荷を推進する ○取引市場を集約し、ロットの拡大を図る

⑥ト マ ト

課　題	対　策
生産（指導） ○高温障害や土壌病害の発生と、花落ち、管理不足等による収量減少 ○寒暖の差による９月以降の裂果の発生	**生産対策** ○土壌診断の推進と現地講習会による栽培技術の向上、接ぎ木栽培の普及指針（土壌病害対策）を図る ○こまめな温度管理と、主枝更新技術の推進により出荷ピークの平準化を図る
販売 ○各市場、得意とする販売アイテム及び等階級の価格差があるが、取引市場が多く出荷ロットが少ないため売り場の確保と価格の維持が課題	**販売対策** ○取引市場を集約し出荷ロットを拡大することで市場特性に合わせた分荷を行い単価底上げを図る。また、販売価格安定のため予約相対取引に取り組む

⑦ミニトマト

課　題	対　策
生産（指導） ○連作障害での青枯れ病等の土壌病害と、多湿条件での灰色かび病、疫病の発生 ○高温期の急肥大や温度格差に伴う裂果の発生	**生産対策** ○接ぎ木栽培の普及推進（土壌病害対策）を図り、土壌改良剤を活用した土壌病害対策試験の実施 ○生産資材を活用した裂果対策の構築に取り組む
販売 ○取引市場が多く出荷ロットがまとまらない ○出荷規格の見直し（３kgバラＢ品）	**販売対策** ○ＪＡ八戸の出荷規格の遵守を徹底する ○取引市場への的確な産地情報の提供を行う ○消費宣伝活動に取り組む ○継続安定出荷の推進を行う ○取引市場を集約し、ロットの拡大を図る

⑧きゅうり

課　題	対　策
生産（指導） ○高温による芯焼けが多く生育が停滞し収穫開始の遅れ（露地・ハウス） ○収穫期間の短縮による反収の減少（切上り・あきらめが早い／露地）	**生産対策** ○芯焼けを軽減できる資材及び品種を検討する ○圃場巡回の徹底により、防除効果の高い新しい薬剤の周知と使用の促進を図る
販売 ○高齢化や後継者不足により作付け面積が減少し、市場出荷要望に対応できない	**販売対策** ○新規作付け者を推進し、作付け面積の拡大を図る

⑨ピーマン

課　題	対　策
生産（指導） ○樹勢管理（栽培、肥培管理、病害虫防除、適期収穫）の個人差による収量差	**生産対策** ○促成・半促成栽培の推進 ○肥培管理と適期収穫の指導徹底を図り、新資材導入の検討（潅水チューブ、被覆資材、マルチ等）を行い反収の増加を目指す
販売 ○取引市場の要望に応える販売ロット拡大（反収向上） ○異物混入の根絶	**販売対策** ○選果・選別の徹底を講習会・目揃い会で周知する ○共選施設の有効活用と下位等級品の有利販売に取り組む ○注意喚起の対応指導を徹底する

⑩豆　類

課　題	対　策
生産（指導） キヌサヤ・スナップエンドウ ○秋サヤの高温多湿生育期の品質の低下 インゲン ○天候の影響により奇形莢の増大 そら豆 ○生産者の減少と、天候不順等による出荷量の減少 えだ豆 ○害獣やダイズシストセンチュウによる被害がみられる ○５、６月の天候不順による不稔 ○高齢化による生産者の減少	**生産対策** キヌサヤ・スナップエンドウ ○秋サヤ向け栽培講習会開催と栽培管理情報の提供による品質の向上を図る インゲン ○高温対策を図り、潅水設備の導入の検討を行う そら豆 ○新規作付者募集と、天候に対応した技術指導で栽培技術の向上を図る えだ豆 ○害獣駆除対策を検討し、品種比較試験による優良品種の検討及び緑肥作物によるダイズシストセンチュウの対策を図る ○マルチ栽培等による新規栽培技術の検討を図る
販売 キヌサヤ・スナップエンドウ ○選果選別格差の是正と下位等級品の販路拡大 インゲン ○重点市場への安定出荷と下位等級品の有利販売 そら豆 ○日々の出荷量が不安定で市場要望対応が困難 ○近年の天候不順等によるM、S比率の増加 えだ豆 ○作付け減少による出荷ロットの減少や晩成種の作付け減少による販売期間の短縮	**販売対策** キヌサヤ・スナップエンドウ ○近年のロット拡大を活かし重点市場を中心とした販売を行い安定出荷を図るとともに、選果選別の徹底により市場評価を高め販売価格の安定に努める インゲン ○日々の出荷量把握を行い各市場への分荷調整を行い、C品パックやD品値決め販売により販売単価の底上げを図る そら豆 ○短期収穫、早期出荷を推進し継続安定出荷を行うことで有利販売につなげる えだ豆 ○作付け品種の絞り込み（共通化）によるロット数の確保と、収益性の高い枝付き販売の推進や予約相対取引による販売メリットの確保

⑪振興野菜

課　題	対　策
生産（指導） 丸いも ○天候不順等による品質と反収の低下 いちご（一季成り） ○うどんこ、ハダニ等の病害虫の発生 いちご（四季成り） ○灰色かび、アザミウマ等の病害虫の発生 寒締めちぢみほうれん草 ○播種床作り時の水不足による発芽不良の発生 ○塩類濃度障害による発芽、生育不良の発生	**生産対策** 丸いも ○栽培管理の徹底と、種子更新の推進、選抜方法の指導を行い品質と反収の向上を図る いちご（一季成り） ○「よつぼし」の普及拡大と、天敵（生物農薬）の導入を促進し病害防除に努める いちご（四季成り） ○防除効果の高いローテーション散布の確立を図る 寒締めちぢみほうれん草 ○講習会で播種床作りの技術指導を重点的に実施する ○土壌診断の実施と土壌改良剤の推進を図る
販売 丸いも ○早期出荷の推進と出荷量の増加に伴う販路の確保 いちご（一季成り） ○完熟出荷のため販路が限定される いちご（四季成り） ○出荷量減少による出荷ロットの縮小 寒締めちぢみほうれん草 ○日々の出荷量が安定せず市場要望への対応が困難	**販売対策** 丸いも ○早期出荷の有利性を講習会で説明し集荷に努める また、関東や県内市場への販路を開拓する いちご（一季成り） ○収穫適期を早めることにより棚持ちを高め流通販路の拡大を図る いちご（四季成り） ○出荷量に合わせた販路を再構築し有利販売に努める 寒締めちぢみほうれん草 ○翌日の出荷予定数量を確認することにより市場対応の精度を上げ有利販売につなげる

※詳しくは、各品目ごとの講習会・目揃い会等で説明いたしますのでご理解をお願いいたします。
※各品目の新規作付けご希望の方は各地区営農センターで受け付けておりますのでお気軽にご相談ください。

3 令和３年度販売実績（１～12月）

品目	令和３年度 販売実績									令和２年度 販売実績			令和３年度 販売計画		
	人数	販売数量（t）			販売金額（千円）			kg単価（円）							
			前年対比	計画対比		前年対比	計画対比		前年対比	計画対比	販売数量（t）	販売金額（千円）	kg単価（円）	販売数量（t）	販売金額（千円）	kg単価（円）
ながいも(R2)	315	7,059	88.5%	96.6%	1,624,072	80.6%	74.1%	230	90.9%	76.7%	7,975	2,014,022	253	7,310	2,193,000	300
にんにく(R2)	495	882	67.5%	88.2%	1,276,684	112.6%	91.2%	1,447	166.7%	103.4%	1,306	1,133,686	868	1,000	1,400,000	1,400
ね　ぎ	124	1,733	99.7%	99.0%	466,200	76.0%	74.0%	269	76.2%	74.7%	1,738	613,352	353	1,750	630,000	360
大根葉菜	21	780	92.2%	97.5%	65,969	85.2%	82.5%	85	92.4%	85.0%	846	77,422	92	800	80,000	100
ごぼう(R2)	52	650	62.5%	68.4%	193,931	184.1%	84.3%	298	295.0%	123.1%	1,040	105,358	101	950	230,000	242
トマト	102	1,560	98.5%	91.8%	513,984	97.4%	97.0%	329	98.8%	105.4%	1,584	527,555	333	1,700	530,000	312
ミニトマト	61	243	105.2%	101.3%	154,193	96.0%	94.5%	635	91.4%	93.4%	231	160,577	695	240	163,200	680
きゅうり	93	851	106.9%	85.1%	228,164	90.7%	71.3%	268	84.8%	83.8%	796	251,635	316	1,000	320,000	320
ピーマン	359	2,075	113.1%	112.2%	532,567	80.9%	96.0%	257	71.6%	85.7%	1,835	658,190	359	1,850	555,000	300
豆　類	329	243	94.6%	86.8%	224,412	92.8%	80.1%	924	98.2%	92.4%	257	241,796	941	280	280,000	1,000
振興野菜	190	361	104.6%	103.1%	170,794	99.4%	97.6%	473	95.0%	94.6%	345	171,905	498	350	175,000	500
合　計	2,141	16,437	91.6%	95.4%	5,450,970	91.5%	83.1%				17,953	5,955,498		17,230	6,556,200	

※ながいも、にんにく、ごぼうは年産で整理しております。

4 令和４年度販売計画（１～12月）

品目	令和４年度　販売計画（ながいも、にんにく、ごぼう　令和３年産）					令和３年度　販売実績（ながいも、にんにく、ごぼう　令和２年産）				
	人数（人）	共販面積（ha）	販売数量（t）	販売金額（千円）	kg単価（円）	人数（人）	共販面積（ha）	販売数量（t）	販売金額（千円）	kg単価（円）
ながいも(R3)	310	252.0	7,300	2,044,000	280	315	261.9	7,059	1,624,072	230
にんにく(R3)	490	250.0	1,000	1,500,000	1,500	495	253.9	882	1,276,684	1,447
ね　ぎ	130	46.1	1,750	525,000	300	124	45.1	1,733	466,200	269
大根葉菜	20	23.2	750	71,250	95	21	24.7	780	65,969	85
ごぼう(R3)	48	58.5	700	140,000	200	52	60.3	650	193,931	298
トマト	100	17.9	1,650	544,500	330	102	18.5	1,560	513,984	329
ミニトマト	61	4.9	245	171,500	700	61	4.9	243	154,193	635
きゅうり	93	9.5	950	304,000	320	93	9.5	851	228,164	268
ピーマン	380	42.0	2,520	756,000	300	359	40.7	2,075	532,567	257
豆　類	330	32.2	250	237,500	950	329	32.2	243	224,412	924
振興野菜	200		360	172,800	480	190		361	170,794	473
合　計	2,162		17,475	6,466,550		2,141		16,437	5,450,970	

※ながいも、にんにく、ごぼうは年産で整理しております。

支店運営委員会開催

当ＪＡでは、1月14日から1月28日にかけ、全9支店で支店運営委員会を開催しました。

今回、支店運営委員会で以下の4案件について検討しました。

①各支店運営委員会での主な意見・要望について

②各支店事業推進、行事等（地域ふれあい活動について）

③営農・経済事業の報告事項

④その他

支店運営委員会で出された意見・要望とそれらに対する回答をご紹介いたします。

（一部抜粋）

各支店運営委員会での主な意見・要望について

Q 移動店舗車を見た時に利用者を見かけなかったが、利用者はいますか。

A 支店統廃合により、支店が遠くなった利用者へサービスの一環として、移動店舗車を運行しております。

現在9ヶ所での運行をしており、平均利用者は3名程度となっております。運行日程表につきましては、広報誌ぱるじゃのＪＡカレンダーにも掲載しておりますので、ぜひご利用をお願いいたします。

各支店事業推進、行事等（地域ふれあい活動について）

Q 南部支店では地域ふれあい活動としてお客様感謝デーで、シクラメン1鉢プレゼントとありますが、何かイベントをやった後にあげたのですか。

A 広報に先着100名様までの引き換えとするチラシを入れて配布いたしました。

意見 新型コロナウイルス感染症がまん延している為、地域ふれあい活動を中止したほうが良いと思う。

A 今年度の地域ふれあい活動については開催内容や開催時期によってやむを得ず中止した支店もありました。来年度新型コロナウイルス感染症が落ち着いている事を期待して、活動を行う事になった際はご協力お願いいたします。

営農・経済事業の報告事項

1Q 稲作の等級比率が下がっているのはカメムシが原因という事ですが、対策を講じて欲しいです。

1A 階上地区は行政が資金を出しヘリでの一斉散布をしておりますので、その取り組みが結果に出ていると思われます。この取り組みを他の行政に情報提供していきたいです。

2Q 米価下落の今後はどうなりますか。

2A 今後は高くなるとも安くなるとも言えない状況です。飼料用米に生産の移行をお願いしております。

3Q コロナ禍での流通で肥料等の在庫は十分ですか。

3A 予約分については確保しております。当用分については、どのくらいの需要があるのか分からず何とも言えないので、できる限り予約注文で申し込んでいただきたいです。

4Q コロナ禍で講習会等が中止になっているので、相談する機会を作ってほしいです。

4A 室内で行う冬期講習会はコロナ禍により控えておりました。しかし、現地での講習会は開催しておりますので、ぜひご参加ください。

その他

1Q 1家族で組合員が2人以上いる場合があるようですが、農家から見て何かメリットはありますか。

1A 農協の運営に参加・参画していただくことができます。ご家族で組合員にご加入いただき、農協を一緒に盛り上げていただきたいと思います。

2Q 葉タバコ廃作者への対応はどのようにしていますか。

2A キュウリやピーマンなどの新規耕作者の募集はしておりますが、JAでは廃作者の名簿を把握できないため廃作者へのアプローチは出来かねている状況です。

たくさんの意見・要望等に組合長はじめ役職員が回答し、理解を求めました。今後も皆様の意見をJA運営に反映していきます。

「令和3年度青森県ながいも共進会」および「令和3年度青森県ニンニク共進会」県知事賞受賞

県と全農あおもり主催の「令和3年度青森県ながいも共進会」および「令和3年度青森県ニンニク共進会」の表彰式が2月7日、営農・経済本部で行われました。

ながいもは森司さん、にんにくは金澤幹雄さんが県知事賞を受賞し、賞状と副賞が授与されました。

さらに、ながいも共進会では佐々木耕二さんも優良賞を受賞しました。

両共進会ともに、産地の維持・拡大に向けて、栽培技術のレベルアップと高品質安定生産の推進を目的に毎年開催しています。

受賞した2人は「県知事賞を受賞でき嬉しい。今後も品質の良い農作物を作っていきたい」と受賞の喜びを語りました。

県知事賞を受賞した金澤さん、森さん

スマホ教室開催 参加者初めてのスマートフォンに触れる

金融部は2月5日に五戸支店、19日に南部支店で初めてスマホ教室を開催しました。

ドコモショップ八戸根城店のスタッフ5人からスマートフォンの使い方を学びました。金融部では幅広く組合員へスマートフォンに慣れ親しんでもらうことやJAバンクアプリやネットバンクの利用促進を目的に開催。

五戸支店ではアプリのインストール・アンインストールの方法、南部支店では電源の入れ方、切り方や検索の仕方などを学びました。デモ機や自分のスマートフォンを使い、操作方法をスタッフから聞きながら天気のアプリをインストールしたり、地図で目的地を検索しました。

参加者は「スマートフォンは機能が多く難しいと思っていた。実際に触れ楽しくスマートフォンを使うことができた」と話しました。

今後もスマホ教室を企画いたしますのでぜひご参加ください。

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、規模を縮小して開催いたしました。

令和３年度 ＪＡ八戸青壮年部通常総会

▲ 挨拶をする高村部長

ＪＡ八戸青壮年部は２月28日、営農・経済本部で令和３年度ＪＡ八戸青壮年部通常総会を開催しました。

高村泰公部長は「コロナ禍の影響から今年度も思うような活動ができなかったと思います。来年度は部員の皆さんと話し合いながら、団結して活動を行っていきたいと思いますのでご協力をお願いいたします」と挨拶。事業報告、次年度事業方針など議事が承認されました。

第13回花き部会通常総会

▲ 議事を進行する荻沢部会長

ＪＡ八戸花き部会は２月22日、営農・経済本部で第13回花き部会通常総会を開催しました。

荻沢功部会長は「春先のカンパニュラから販売環境が良く出荷終盤まで高値で販売できたほか、輪菊は秋彼岸の頃に持ち直し販売額は顕著な結果となりました。有利販売に向け輪菊の出荷規格の見直しを行っていく方向です。厳しい課題ではありますが、部会員一丸となって頑張っていきたいと思います」と挨拶しました。「花き共進会の開催時期はいつ頃か？」と質問が出たほか、収支決算や次年度計画などが満場一致で承認されました。

地域ふれあい活動

三戸支店 お客様感謝デー りんご１袋、プレゼント

三戸支店は２月24日、三戸支店で地域ふれあい活動を行いました。日頃ご利用いただいているお客様へ先着１００名様を対象に、りんご（サンフジ）１袋（６個入）をプレゼントしました。りんごは三戸町の生産者が愛情込めて育てたもの。

イベント開始とともに、支店職員が来店者に「おはようございます。本日お客様感謝デーでりんごをお渡ししております」と元気よく声掛けを行い、りんごを手渡しました。

来店者は「りんごを頂くことができて嬉しい。職員の皆さんも元気な挨拶でよかった」と大変喜んでいました。

ミニトマト 農薬の基本知識学ぶ

▲ 講習を受ける生産者

ミニトマト専門部八戸支部は２月10日、八戸営農センター(中央)で講習会を行い、生産者14人が参加しました。

講師はクミアイ化学工業㈱の藤岡伸吾さんが務め、農薬の基本知識について学び、農薬に対する知識を深めました。

また、八戸営農センターの小笠原克則指導員が令和３年度の生育状況と販売実績について説明し、例年より霜が降るのが遅く出荷量が増えたことや、傷害果や病害虫の発生も見られたことを報告しました。

酒米　次年度に向けて 生育の特徴を学ぶ

▲ 説明に耳を傾ける生産者

水稲部会三戸酒米支部は２月９日、三戸営農センターで三戸酒米支部講習会を行い、生産者11人が参加しました。

県民局の川村陽一主幹専門員を講師に招き、令和４年の作付けに向けて、令和３年の生育の特徴を説明したほか、初期生育の確保、登熟期間や適期の刈り取りなどが必要であることを生産者へ呼びかけました。

さらに、「刈取時期を遅らせても心白の発生や玄米千粒重に大きな変化はないが、胴割率が高くなる傾向にあります」と話しました。

指導員ねぎレベル アップ研修会

▲ 播種方法を学ぶ職員

ＪＡ指導担当者は２月18日、八戸市是川の水越貴一さんのハウスでねぎ指導担当者レベルアップ研修会を開催しました。八戸営農センターの盛幸弘調査役が講師となり、「播種編」と題し、品種の特徴及び作付け体系、育苗施設及び資材の準備、苗床の準備から播種までの説明をしました。

水稲育苗箱にチェーンポットをセッティングする方法、培土の入れ方やポットプレートでの播き穴の空け方、ポットシーダーによる種子の入れ方や覆土のバーミキュライトを均一に掛けるなど、播種工程を学びました。

倉石牛家畜慰霊祭 および通常総会

▲ 神事を行う若林部長

あおもり倉石牛銘柄推進協議会は１月28日、倉石牛へ日頃の感謝と追悼の意を込め、旧倉石グリーンセンター前の家畜慰霊碑で家畜慰霊祭が執り行われ、生産者や関係機関が参加しました。

慰霊祭では、五戸町の若宮佳一町長をはじめ、営農部の若林政秀部長、生産者が慰霊碑に玉串を奉納。倉石牛の益々の発展に向け神事を執り行いました。

神事終了後、五戸町役場で通常総会が行われ、倉石牛の飼養技術の向上対策や販路拡大に向けた取り組みや次年度計画などが承認されました。

経済産業省 中小企業庁からのお知らせ

事業復活支援金について

事前確認期間 2022年5月26日(木)まで
申請期間 2022年5月31日(火)まで

給付対象

❶と❷を満たす **個人事業者・中小法人が給付対象** となり得ます。

❶ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者
❷ 2021年11月～2022年3月のいずれかの月（対象月）の売上高が、2018年11月～2021年3月の間の任意の同じ月（基準月）の売上高と比較して50%以上又は30%以上50%未満減少した事業者

※計算に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策として国又は地方公共団体による支援施策により得た給付金、補助金等は、各月の事業収入から除きます。ただし、対象月中に地方公共団体による時短要請等に応じており、それに伴う協力金等を受給する場合は、「対象月中に時短要請等に応じた分」に相当する額を、対象月の事業収入に加えます。（給付額の算定においても同じ）

給付対象外となる場合

実際に売上が減少したわけではないにも関わらず、通常事業収入を得られない時期（農産物の出荷時期以外や精算時期のずれなど）を対象月とすることにより、算定上の売上が減少している場合は給付対象外です。

誤って申請することのないよう、よくご確認ください。

給付額

個人事業者等 上限最大50万円 を支給します。 **中小法人等** 上限最大250万円

給付額 基準期間※1の売上高－対象月の売上高×5か月分

※1 2018年11月～2019年3月／2019年11月～2020年3月／2020年11月～2021年3月のいずれかの期間（基準月を含む期間であること）

新型コロナウイルス感染症の影響

どのような影響を受けて売上が減少したか理由が必要です。
ホームページに影響の項目を記載しておりますので、❶～❾のどの影響を受けたか確認しておいてください。
※新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことについて、その裏付けとなる書類の追加提出を求める場合がございます。

申請の流れ

アカウントの申請・登録等 → 登録確認機関の事前確認 → 申請

ＪＡ八戸に出荷のある組合員で一時支援金および月次支援金を受給していない方

ホームページの仮登録画面にメールアドレスや電話番号を入力し申請ＩＤを発番

継続支援関係の登録確認機関に電話し、事前予約する

電話により簡略化された事前確認を受ける

マイページから申請
申請書類はホームページ参照

① オンライン申請が困難な方がご利用いただける申請サポート会場も設置しております（詳細はホームページでご確認ください）。
② 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、ご来場は極力控えていただき電話での対応とします。
③ ＪＡに出荷のない方あるいは組合員外は、ＪＡ以外の登録確認機関（ホームページ参照）をご利用ください。

事前確認について

事業復活支援金の申請はオンラインで行いますが、申請にはアカウントの申請・登録とＪＡ等登録確認機関での事前確認が必要となります。
ＪＡ八戸では登録確認機関となっております。

注意事項
事前確認の前に必ずスマートフォン等によりアカウントの作成・登録を行い、申請ＩＤの発番をしてください。
事業復活支援金ホームページ https://jigyou-fukkatsu.go.jp/
事前確認の予約・お問い合わせ ＪＡ八戸 営農企画課 電話 0178-61-6339

事前確認での確認事項

①「申請ＩＤ」、「電話番号」（アカウントを登録した番号）
②「代表者の氏名及び生年月日」→ 個人事業主の場合
「法人番号及び法人名」 → 法人の場合
③「申請希望者の売上減少の要因についての確認」❶～❾のどの影響を受けたか確認
④「申請希望者が本支援金に係る宣誓・同意事項等を正しく理解していることの確認」

相談窓口

電話番号のお掛け間違いが発生しております。お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようにお願い申し上げます。

事業復活支援金コールセンター
0120-789-140
（携帯電話からもつながります）
※お電話は大変混み合うことが予想されますので、ホームページもご活用ください。
IP電話専用回線 **03-6834-7593** 受付時間 8:30-19:00（土日・祝日含む全日）

ホームページ

事業復活支援金 検索
https://jigyou-fukkatsu.go.jp/

⚠ 不正受給は犯罪です！

新人職員と女性部との料理講習会

ＪＡでは、食農教育や地産地消に取り組んでいます。このことから、新人職員を対象に、農閑期の間、管内の農畜産物の良さや生産者の声を身近に感じ学んでいきます。

ＪＡは2月18日、八戸営農センター（中央）加工施設で新人職員と女性部との料理講習会を行い、新人職員2人と女性部員13人が参加しました。

女性部階上地区が地元産の大豆で作った「みそ」を使ったみそおにぎりやみそ風味シチューなどの料理3品を調理しました。

職員はおにぎりの握り方や包丁の使い方などを学び、手際よく約20人分の料理を作りました。

感想

・八戸営農センター（南部）
高橋（たかはし）　充（みつる）（入組1年目）

料理を作ってみて、皮をむく、肉を切る、おにぎりを握るなど簡単そうだと考えていましたが、皮がむけていなかったり、肉の大きさがバラバラだったりと難しいことが分かりました。何回か行ううちに上手になってきたので仕事上でも難しいけれど継続してうまくなっていけるように日々成長していきたいと思います。

・五戸営農センター（西部）
山田（やまだ）　大陽（たいよう）（入組1年目）

普段見慣れたメニューだとしても味噌を入れたり、覆ったりと、一手間が加わるだけで大分様変わることに驚きました。料理自体普段することがないので、キビキビ動く女性部の皆さんについていくだけでも一苦労でした。要所要所で学んだ技術は日常の中でも活かせそうな有意義なものとなりました。

今回作ったレシピは広報誌2月号「地場産レシピ」に掲載しています。

活動リポート

女性部まべち支部三戸地区

まちの楽校

三戸地区は毎月８のつく日に三戸町のまちの楽校に串もちと豆腐田楽を出店しています。午前９時から販売を開始し、開店と同時に来場者が列を作ります。女性部が調合したニンニクみそを塗った豆腐田楽は予約注文が入るほど人気で、午前中で売り切れる時もあり、串もちは10枚以上購入するお客様もいます。参加した部員は「愛情込めて１枚１枚丁寧に作っている。おいしいというお客様の笑顔を見ると嬉しい」と話しました。

地場産レシピ

女性部田子支部

今月のレシピは「田子牛」です。
年間出荷数約70頭の希少な黒毛和種「田子牛」は“幻の牛肉”と呼ばれています。その肉質はとても柔らかく、脂身は多めなのにとてもあっさりしています。
田子牛は、田子町内の飲食店で食べることができます。ぜひ、「幻の牛肉」ご賞味ください。

田子牛スープ
～ニンニクチップを添えて～

材　料（４人分）

牛肉	100ｇ
しいたけ	50ｇ
レタス	100ｇ
もやし	100ｇ
コンソメスープの素	小さじ３
水	500cc
塩コショウ	少々
ニンニクチップ	適量

作り方
1. しいたけ・レタスは１㎝幅でスライスする。
2. 水にコンソメスープの素を加え火にかけ、牛肉を入れ火が通ったら取り出す。
3. ❷のスープに❶ともやしを入れ火が通るまで煮たら取り出しておいた牛肉を戻し入れ、塩コショウをする。
4. 器に盛り付けたら最後にニンニクチップを散らす。

田子牛のあっさりサラダ

材　料（２人分）

牛肉	100ｇ
レタス	100ｇ
キャベツ	100ｇ
玉ねぎ	50ｇ
人参	50ｇ
ニンニクチップ	適量

ドレッシング

A	醤油	大さじ２
	酢	大さじ２
	砂糖	小さじ２
	ごま油	小さじ２
	白ごま	小さじ２
	おろしにんにく	少々

作り方
1. レタス・キャベツは食べやすい大きさに切り、玉ねぎは薄くスライス・人参は千切りにしよく混ぜ合わせる。
2. 牛肉を湯通しして❶の野菜に盛り付け、ドレッシングAを混ぜ合わせたものを上から回しかける。
3. 器に盛り付けたら最後にニンニクチップを散らす。

田子牛と丸いものねばとろ焼き

材　料（４人分）

牛バラ肉		200ｇ
丸いも		500ｇ
A	醤油	大さじ２
	砂糖	10ｇ
長ねぎ		１本
揚げ油		適量

作り方
1. 牛バラ肉は千切りにしてAで甘辛く煮る。
2. 丸いもは皮をむき（正味400ｇ）すりおろす。
3. 長ねぎは薄く小口切りにする。
4. 材料すべてをよく混ぜ、多めの油で両面を揚げ焼きにする。

※お好みで、ソース・マヨネーズ・塩を添えて。

グリーンセンター施設のご案内と営業時間のお知らせ

グリーンセンター施設のご案内

グリーンセンター名	電話番号	住　　所	管轄する地区
中央グリーンセンター	0178-70-4062	八戸市尻内町熊ノ沢47-2	八戸市(是川・南郷除く) 五戸町(倉石を除く)
是川グリーンセンター	0178-96-1776	八戸市是川十役下タ34	八戸市南郷・是川地区・階上町
新郷グリーンセンター	0178-78-2002	新郷村戸来中野平24-1	五戸町倉石地区・新郷村
南部グリーンセンター	0178-76-2212	南部町平広場25-4	南部町全域
三戸グリーンセンター	0179-22-3172	三戸町川守田雀舘5-6	三戸町・田子町

管轄する地区は上記となりますが、いずれのグリーンセンターでもご利用いただけます。

令和４年４月１日から９月30日の営業時間

曜日 / グリーンセンター名	平　日	土曜日	日曜日・祝日
中央グリーンセンター	8:00～18:00	8:00～12:00	8:00～12:00
是川グリーンセンター			
新郷グリーンセンター			
南部グリーンセンター			
三戸グリーンセンター			
三戸グリーンセンター(田子)	8:30～12:00	休　日	休　日

10月以降の営業時間は各グリーンセンター店頭に掲示いたします。

生産資材の配達をご依頼される方へ

生産資材の配達を下記のとおり対応いたします。最寄りのグリーンセンターへご相談ください。

平　日　正午までに受けた依頼・・・・・午後の配達となります。
午後４時までに受けた場合・・・翌日の配達となります。(土曜日・日曜日・祝日除く)

土曜日・日曜日・祝日　・・・・・・・・・・・・・・・翌営業日配達となります。

※配送の状況(配送件数が多い場合等)によっては、決められた日時に対応できない場合がありますのでご了承ください。また、余裕をもってのご依頼とグリーンセンター窓口での購入をお勧めいたします。

正組合員と准組合員の資格要件の違いって？

農業に従事している　正組合員

① 10アール以上の農地を耕作する農業を営む方
② １年のうち90日以上農業に従事する方

農協を利用している　准組合員

① ＪＡ八戸管内にお住まいの方
② ＪＡ八戸管内に勤務地があり、１年以上継続して貯金、共済などを利用している方

地域農業の応援団

ワンポイント情報

団体・法人も加入出来ます。加入要件については、ＪＡまでお問い合わせください。

お問い合わせ先　ＪＡ八戸　総務部 総務課　ＴＥＬ ０１７８-７０-７７１１

役員改選が行われます

今年６月開催予定の第13回通常総代会で役員改選が行われます。当ＪＡでは役員選任制をとっており、総代会に役員の選任議案という形で総代の皆様に提案し、承認をもとめます。総代会に提案する役員候補者の選出は、地区ごとに正組合員の皆様から地区選挙により選出していただきます。

つきましては、役員候補者を選出する地区選挙を次のとおり実施致します。

地区選挙

【立候補・推薦の届出】

①届出期間：令和４年４月13日(水)～４月22日(金)
②届出時間：平日　午前９時～午後３時
③辞退届締切：令和４年４月25日(月)
④届出場所：当ＪＡ各支店
⑤届出方法：支店に備えの所定用紙に自署・押印のうえ、届出願います。
⑥投票日時：令和４年４月30日(土)　午前９時～午後３時
⑦投票場所：当ＪＡの支店等

※候補者が定数を超えない場合は、投票を行いません。

地区選挙の定数　理事　20名　　監事　４名

《地区別定数》

区域	上長	福地	豊崎	下長	是川	階上	南郷	川内	五戸	倉石	新郷	三戸	斗川	南部	名川	田子
理事	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	2	1
監事	1							1				1				1

任期　令和４年通常総代会(６月)の日から令和７年通常総代会(６月)の日まで

組合員資格のご確認をお願いいたします

平素は、ＪＡ事業にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

組合員の皆様へ、組合員資格・氏名・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、ＪＡ支店窓口へお申し出くださいますようお願いいたします。

正組合員から准組合員へ

・耕作面積に異動があり、耕作が10アール未満となり、又は１年のうちに農業に従事する日数が90日未満になった方。

准組合員から正組合員へ

・現在の耕作面積が10アール以上になる方。
・１年のうち農業に従事する日数が90日以上になる方。

相続による名義変更

・組合員が死亡した場合。

4 April JAカレンダー

1 金	●入組式（営農・経済本部） ●金融移動店舗車運行日（旧市川取次店・五戸営農センター（東部）ＡＴＭ）	16 土	
2 土		17 日	●ローン相談会（下長支店２階ローンセンター）
3 日		18 月	●金融移動店舗車運行日（旧是川取次店・旧舘取次店）
4 月	●金融移動店舗車運行日（旧是川取次店・旧舘取次店）	19 火	●金融移動店舗車運行日（旧新郷支店・旧西越ＡＴＭ）
5 火	●金融移動店舗車運行日（旧新郷支店・旧西越ＡＴＭ）	20 水	●金融移動店舗車運行日（旧是川取次店・旧福地支店）
6 水	●金融移動店舗車運行日（旧是川取次店・旧福地支店）	21 木	●ＪＡ葬祭事前窓口（営農・経済本部） ●金融移動店舗車運行日（旧豊崎支店・旧猿辺ＡＴＭ）
7 木	●ＪＡ葬祭事前相談窓口（営農・経済本部） ●金融移動店舗車運行日（旧豊崎支店・旧猿辺ＡＴＭ）	22 金	●役員改選にかかる地区選挙 立候補・推薦届出受付（13日～22日）締切 ●金融移動店舗車運行日（旧市川取次店・五戸営農センター（東部）ＡＴＭ）
8 金	●金融移動店舗車運行日（旧市川取次店・五戸営農センター（東部）ＡＴＭ）	23 土	
9 土		24 日	
10 日		25 月	●金融移動店舗車運行日（旧是川取次店・旧舘取次店）
11 月	●金融移動店舗車運行日（旧是川取次店・旧舘取次店）	26 火	●金融移動店舗車運行日（旧新郷支店・旧西越ＡＴＭ）
12 火	●金融移動店舗車運行日（旧新郷支店・旧西越ＡＴＭ）	27 水	●金融移動店舗車運行日（旧是川取次店・旧福地支店）
13 水	●役員改選にかかる地区選挙　立候補・推薦届出受付（13日～22日）開始 ●金融移動店舗車運行日（旧是川取次店・旧福地支店）	28 木	●定例理事会（営農・経済本部） ●ＪＡ葬祭事前窓口（新郷グリーンセンター） ●金融移動店舗車運行日（旧豊崎支店・旧猿辺ＡＴＭ）
14 木	●ＪＡ葬祭事前相談窓口（新郷グリーンセンター） ●金融移動店舗車運行日（旧豊崎支店・旧猿辺ＡＴＭ）	29 金	●昭和の日
15 金	●金融移動店舗車運行日（旧市川取次店・五戸営農センター（東部）ＡＴＭ）	30 土	●役員選任に係る地区選挙（投票日）

※新型コロナウイルス感染症の状況に応じて中止となる場合がございますのでご了承ください。

得する・役に立つ・元気が出る「家の光」４月号のご紹介

〈特集１〉
あっぱれ！いなりずし
炊いた油揚げに酢飯を詰めるシンプルな料理、いなりずしの魅力に迫ります。地域の風土や食文化を反映して全国で独自の発展を遂げています。

春爛漫！芽吹きの季節に
タケノコの愉（たの）しみ

- 〈特集２〉○×クイズで学ぶ 収納術
- 「料理がつらい」の処方箋
- 手芸・モールで作る チューリップのリース

定価　別冊付録とも922円（税込）
ご購読のお申し込みは各支店窓口までどうぞ!!

理事会だより

定例理事会（2/24開催）

案　件

議案第１号　アパート等事業資金の貸付承認について

議案第２号　出資金の減口について

議案第３号　監事監査の結果に基づく回答について

議案第４号　農産物販売仮渡金の支払いについて

議案第５号　参事の解任について

議案第６号　参事の選任について

報告事項

第　１　号　組合員の加入および脱退等について

第　２　号　監事監査報告書について

第　３　号　ＪＡ八戸不祥事再発防止策の取り組みについて

第　４　号　令和４年度役員候補者地区選挙事務取扱要領について

第　５　号　女性理事枠候補者の公募について

第　６　号　女性理事枠候補者選考委員について

第　７　号　支店運営委員会の開催報告について

第　８　号　委員会報告について

第　９　号　人事異動について

第　10　号　各部の事業実績ならびに業務報告について

第　11　号　常勤役員・参事の主要行事出席と行事予定について

ＪＡのすがた
令和４年２月末現在

組合員数	正　10,660人 准　4,690人 計　15,350人
役員	27人
職員（臨時職員含む）	320人
出資金	36.4億円
貯金	911億円
貸出金	299億円
長期共済保有高	3,631億円
購買品供給高	30.4億円（令和2年度）
販売品販売高	93.1億円（令和2年度）

農業経験のない方 大歓迎！

ＪＡ八戸女性部 部員募集

ＪＡ八戸女性部では食を通して地域とのつながりを活動の中心としています。加えて次世代に向けた食育活動や伝承料理講習会を行うほか、手芸講習会、地域のまつり出店など地区ごとに楽しく活動しています。

管内在住の女性（年齢制限なし）であればどなたでも加入できますので、仲間づくりや趣味探しに一緒に活動してみませんか？

主な活動内容

- 料理講習会、フラワーアレンジメント教室
- 軽トラ市の出店、収穫感謝祭
- 農業ふれあい教室（植付・収穫・料理教室）他

お問い合わせ　ＪＡ八戸　総務部 総務課（女性部事務局）
ＴＥＬ 0178-70-7711　ＦＡＸ 0178-70-7716

コミュニティの輪を広げませんか？

ＪＡ八戸青壮年部 部員募集

地域の農業の担い手として、各地域の特色を活かした食育活動・地域貢献活動などを一緒に楽しく活動できる部員を随時募集しております。青壮年部の一員になって、自分が住んでいる地域を盛り上げていきませんか？

主な活動内容

- 小学生に向けた食育活動（バケツ稲教室、野菜植付教室 など）
- 収穫感謝祭をはじめとする各種イベントへの出店・参加
- 地域野菜消費宣伝の手作り看板製作
- 奉仕活動 他

お問い合わせ

八戸営農センター（中央）TEL 0178-70-4051
八戸営農センター（南部）TEL 0178-83-2781
五戸営農センター（西部）TEL 0178-78-2003
五戸営農センター（東部）TEL 0178-68-2212
三戸営農センター（三戸）TEL 0179-23-3811
三戸営農センター（田子）TEL 0179-20-7711
営農部　指導課　TEL 0178-61-6334

輝け×農業

今回は五戸町切谷内の類家遼太さんの所にお邪魔しました。

類家さんはいずれ家業を継ぐなら早めに就農したほうがいいという思いから、就農して7年目になります。代々農家の家系で、約1.5haの農地でながいも、ごぼう、丸いもを栽培しています。

類家さんは「農業は消費者がいる限り薄れていかない仕事だと思う。やっぱり食事は生きる上で必要で、身近な存在だと思う」と話します。

「一年ごとに天候や品質の影響で値段の上がり下がりはあることは大変だ。だが、手をかければかけた分、値段に反映されるので楽しくてやりがいがある」と笑顔を浮かべます。こだわりは自分にあったスタイルで農業経営を行っていくことだと話してくれました。さらに、圃場をきれいに保つこととのこと。そのためにも、草取りなどの管理・維持しています。

類家さんは「自分の会社を起ち上げたい！」と将来について語ります。まだまだ夢をかなえるまでには時間がかかるが、人との繋がりを大事にしていきたいと意気込みます。

『メリハリつけて仕事するときは仕事し、休むときは休む』がモットーの類家さん。将来の夢の達成に向けて、日々頑張ります。今後の農業を支える若手農家として、JAと一緒に頑張っていきましょう！

類家（るいけ）遼太（りょうた）さん（34歳）

- **お住まい**
  五戸町切谷内
- **就農理由**
  家業を継がなければならないと思ったから
- **生産品目**
  ながいも、ごぼう、丸いも
- **家族構成**
  両親、妹

クロスワード
～頭の体操～

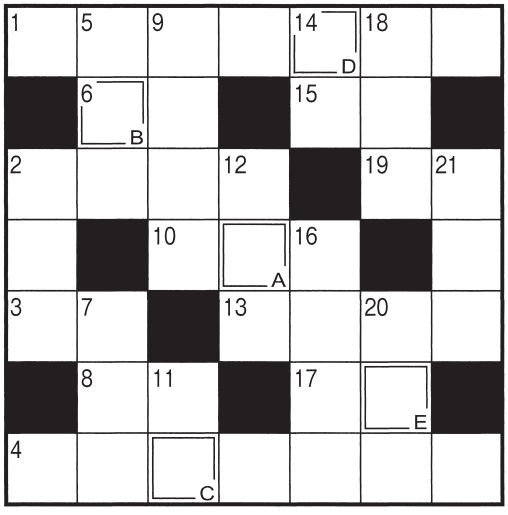
クロスワードを解いて、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

タテのカギ

2　ナットやボルトを締めます
5　そこが彼の彼たる――だ
7　自動車の、地面に触れる部分
9　調味料控えめで作りました
11　花見のときに広げることも
12　――を求めて猫カフェに行った
14　カイコの餌になる植物
16　結婚が決まり、――の顔合わせを行った
18　お酒を飲んでいない状態
20　元素記号はU。原子力発電所の燃料にも使われます
21　ここ20年ほどで携帯する人が増えました

ヨコのカギ

1　新1年生を迎える行事です
2　『ローマの休日』や『プリティ・ウーマン』は――映画の名作です
3　名古屋市の南側に位置する――半島
4　『銀河鉄道の夜』や『注文の多い料理店』の作者
6　大がL、中がMなら、小は
8　黒い石と白い石で戦います
10　日本庭園に敷かれていることも
13　4月29日は――の日。国民の祝日です
15　稲や麦の茎を干したもの
17　表の反対側
19　画家がキャンバスに走らせます



（出題）ニコリ

皆さまのお声

みそおにぎり、なつかしい。子どもの頃は両親が畑に出て一日中帰ってこないので、冷えたご飯にたっぷりみそをつけて、おにぎりにして食べてました。このレシピのようにはしてなかったですが、充分美味しかったです。

八戸市是川（Iさん）

春が待ち遠しいです。今冬は冷え込みが厳しく体にこたえます。「生産者が繋ぐ持続可能なピーマンの産地形成を目指して」がとても参考になりました。我が家の家庭菜園に使えるヒントがありますし、異業種の方にもなるほどと理解してもらえるのではないでしょうか。千夢さんの含蓄に富む文章と編集後記の文章も楽しみによんでいます。

新郷村戸来（Sさん）

孫が4月から小学生になりますので、農業でも良いところを見せられるように頑張ろうと考えています。化成肥料の不足が報道されているようですが、調べると中国から原料が入って来づらくなっているようで心配です。

南部町苫米地（Nさん）

毎月Paljaが届くのに、今まで中身を見ていませんでしたが今回じっくり見てみたら、私にも興味がありそうなページがかなりあり、これから毎回目を通そうと思います。

八戸市売市（Nさん）

毎号、女性部の活動が紹介されていますが、コロナ禍でも活動できていることはステキですね。表紙の写真が作品もわかり楽しそうでした。

五戸町赤川（Tさん）

Paljaを毎号楽しみにしています。農業を始めて3年目です。「輝け×農業」の若い人が農業している記事を読んで「ガンバレ」と心から思います。

八戸市市川町（Nさん）

【編集後記】

今回は令和4年髙島暦からの天気予報を一部紹介いたします。

今年の儲かる色（儲かる野菜）

中心は　黄→前半　白（赤）→
中間　黄（黒・白）→後半　緑
（青・紫）

令和4年の予想

- 天の水は基準と同じ、地水は11合と非常に多い…土がなかなか乾かない
- 五水種浮も5回で洪水予想…長雨・大雨（ゲリラ豪雨）
- 三木枝を折る4回で強風（爆弾低気圧・台風）特に春の風に注意
- 綿ぬき（衣替え）の時期…5月1日早い。（令和3年は5月12日、令和2年は4月23日、令和元年は5月5日）
- 綿入れ（衣替え）の時期…10月25日普通？。（令和3年は11月5日、令和2年は11月15日、令和元年は10月28日）
- 秋はあまり良くないのかな？（台風、雨、曇天で病気が多くなるかも？）
- 水はけを良くする…排水対策をしっかりあくまで予想です。対策はしっかり行いましょう。㊅

■職員のうごき

（　）内は旧所属

【退職】

（令和4年2月28日付）

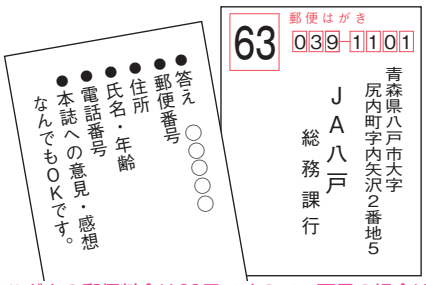
▽箕輪　胡桃（上長支店）

2月号の当選者

おめでとうございます

松　尾　勝　子様
澤　頭　みせ子様
赤　坂　悦　子様
宮　木　明　男様
小　泉　紀　子様
松　田　覚　信様
釜　谷　やす子様
野　村　博　子様
佐　藤　直　子様
有　谷　恭　子様

クロスワードの答えはこちらへ



※ハガキの郵便料金は63円ですので、不足の場合はお手数でも切手を貼って投函していただきますようお願いいたします。

ハガキに「クロスワード」の答えを書いて、どしどしご応募ください。

正解者の中から抽選でグリーンセンター・JA農産物直売所・㈱ぱるじゃサービス各給油所・Aコープ店で使用できる商品券1,000円分を10名様に差し上げます。

JAや本誌に対するご意見・ご感想もお待ちしております。

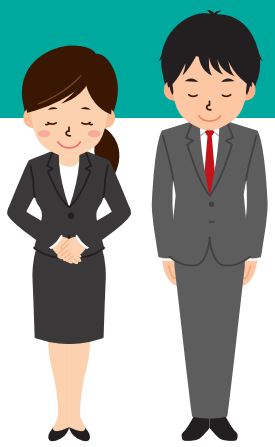
しめ切り
4月5日の消印まで有効。

※応募先の住所が変更となりましたので、ご応募の際はご注意ください。

※ご応募いただいた皆さまの個人情報は、「皆さまのお声」コーナーでのご紹介及び、クイズ当選者への賞品発送にのみ、使用させていただきます。

2月号のクロスワードの答え
ABCDE
「ネンドマツ」

決算棚卸に伴うグリーンセンター・資材センター休業について



令和４年３月30日（水）・31日（木）は、令和３年度決算棚卸に伴い、全グリーンセンター及び資材センターを終日休業とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

農家組合員以外の方でも是非ご相談ください!!

ローン相談会

ご来場の方に粗品プレゼント!

平日はお忙しいお客様と日曜日にご相談させていただきます。
ご予約のない方もお気軽にご来場くださいませ。

住宅ローン

©よりぞう

住宅の新築・増築・改築・宅地購入や、他金融機関からのお借換えもＯＫ！
住宅の新築・購入に、最大１億円までご融資いたします。
親子リレー返済もご利用いただけます。

マイカー・教育ローン

自動車資金・教育資金に幅広く対応！

インターネットからもお申込みできます！

JAフットロー マイカーローン

JAフットロー 教育ローン

※仮審査結果については、後日メール等でご回答いたします。
なお、応諾の場合、後日、店頭にて正式申込および契約手続きが必要となります。

農業資金

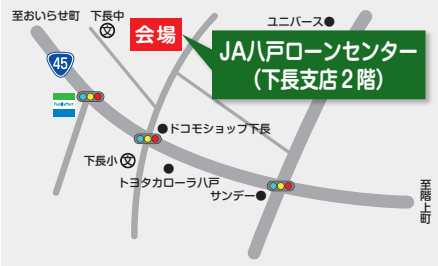
農業資材、農機具購入等農業に関する資金を応援します。

開催日

令和４年
４月17日㊐

場 所：ＪＡ八戸ローンセンター（下長支店２階）
八戸市大字河原木字河原木後10
TEL：0178－20－1391
時 間：午前９時～正午

会場ご案内図



『ＪＡとのお取引はこれから』というお客様もお気軽にどうぞ!!

八戸農業協同組合　〒039-1101 青森県八戸市大字尻内町字内矢沢２番地５　TEL. 0178-70-7711　FAX. 0178-70-7716
編集・発行／総務部 総務課　TEL. 0178-70-7711　FAX. 0178-70-7716　発行日／令和４年３月15日
ホームページアドレス／http://www.ja-hachinohe.or.jp/　E-mail:kouhou@ja-hachinohe.or.jp

この広報誌は地産地消・輸送マイレージに配慮した植物油インキを使用しています。